

平成 29 年 3 月 8 日

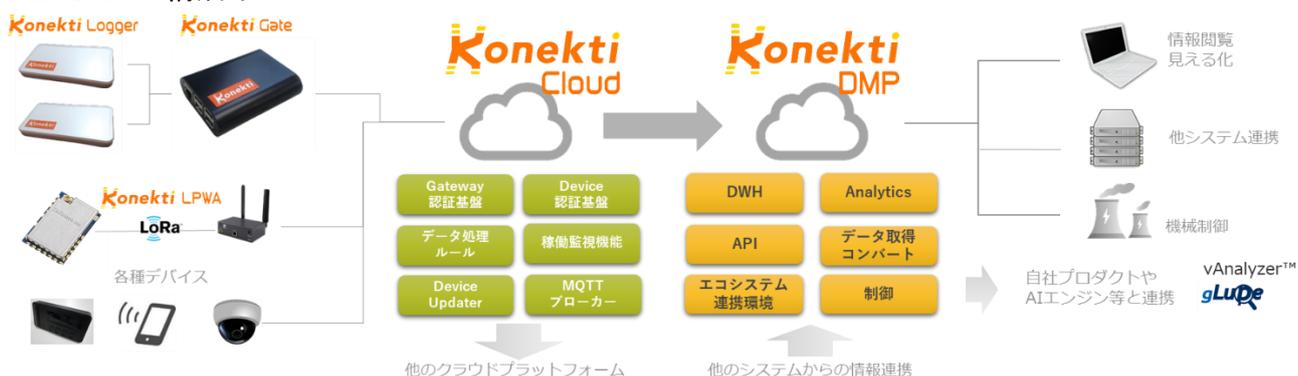
日本ラッド、プラグアンドプレイ感覚でスタートできる エンドツーエンド独自IoTプラットフォーム「Konekti™」販売開始

日本ラッド株式会社（以下日本ラッド、JASDAQ上場、本社：東京都港区、代表取締役社長：須澤通雅）は、同社にて培われたハードウェア・ソフトウェアのノウハウを集約し鋭意開発を進めてきた最新型IoTプラットフォーム「Konekti（コネクティブ）™」の販売を開始いたします。

昨今システムソリューションニーズに対するIoTの重要度はますます高まっており、2020年には500億台のデバイスがインターネットに接続されると予測されております。日本ラッドでは今年度よりIoTソリューションを主要事業セグメントと定め、「ラッド流Internet of Things」として、IoT関連アプリ開発やクラウドインテグレーション、ハードウェアインテグレーションを多方面において展開してまいりました。

本サービスはプロダクトとして、小型軽量の電池駆動で複数のセンサーから3つのセンサーを搭載可能なデータ送信機「Konekti™ Logger」、プラグアンドプレイを実現するインテリジェンスを搭載したゲートウェイ製品「Konekti™ Gate」、スケーラブルかつ高セキュリティ機能を搭載したIoTデータ処理プラットフォーム「Konekti™ Cloud」、センサーデータだけでなく、あらゆるシステムからのデータ連携を実施し、見える化・分析・機器制御が可能なデータアグリゲーションプラットフォーム「Konekti™ DMP」、LPWAによる長距離無線通信環境を提供するソリューション「Konekti™ LPWA」から構成され、インプリメント、カスタマイズ、周辺機能や他システムとの機能連携等はクラウドインテグレーションを実施することにより、より安く、より早く、よりお客様のニーズにマッチしたシステムの提供を可能としております。

<Konekti™ 構成イメージ>



Konekti™の最大の特徴としては、日本ラッドの強みであるハードウェアインテグレーションを生かしたサービス体系の開発からスタートし、そこにシステムインテグレーターとしての経験から導き出した独自のデバイス管理手法を搭載したことで、つなぐだけで動作可能な「プラグアンドプレイ感覚での導入」や、センサーやゲートウェイのグループ管理を手軽に自由に行える「エンドポイントマネージメント」等、従来のIoTプラットフォームにはない機能を実装、高い汎用性・分析性能を実現いたしております。

今回の開発の背景として、従来「ラッド流Internet of Things」ではプラットフォームフリーの立ち位置から顧客ニーズに合わせたツール選定を実施し、都度インテグレーションを実施するスタイルをとっておりましたが、都度型のインテグレーションでは入り口での案件規模が大きくなる傾向があり、中小規模案件や実証実験からスタートする等、徐々にスケールアップするような導入へのスピードと対応力があるプラットフォームを求められておりました。

これを受け今回日本ラッドにて自社開発・販売を開始する「Konekti™」は、センサーの実装からデータ分析まで、エンドツーエンドで求められるすべての機能、各種デバイスを取りそろえ、申込後すぐにスタートできるクラウド型ソリューションとなっております。

日本ラッドでは今後さまざまな顧客ケースにおいて「Konekti™」を活用したシステムインテグレーションサービスを積極的に展開、IoTセグメントの収益の柱として成長させつつ、まずは来年度にて100社程度の獲得を目指し事業展開してまいります。

■日本ラッド株式会社について

所在地：東京都港区虎ノ門 2-2-5 共同通信会館ビル

代表取締役社長：須澤通雅

JASDAQ 上場（コード番号 4736）

URL：<http://www.nippon-rad.co.jp/>

創業 46 周年を迎える、ソフトウェアの受託開発、システムインテグレーションを主業務とする 1999 年に公開した JASDAQ 上場企業です。革新的なコア技術によるソリューション提供、フルターンキーのシステム構築・運用サービスを展開しています。

近年はAI、IoTテクノロジーを軸に、ビッグデータ、クラウド、医療、動画解析等のソリューション開発に取り組んでいます。

■お問い合わせ先

日本ラッド株式会社 IoTソリューション事業部 営業部 担当：平井・齋藤

電話番号：03-5574-7806 問い合わせメールアドレス：iot-sales@nippon-rad.co.jp